

【令和2年第4回定例会 環境委員会委員長報告資料】

令和2年6月18日 環境委員長 林 敏夫

○「議案第79号 川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

《主な質疑・答弁等》

* 災害時における廃棄物処理施設の設置に際する生活環境の確保の取組について

破砕施設等を設置する場合は、災害時に調査結果等の縦覧及び利害関係者からの意見書の提出を省略するものとし、焼却施設及び最終処分場を設置する場合は、周辺への影響を考慮し、災害時も縦覧等を行うものとしている。また、周辺住民に対しては個別に書面を配布し、必要な情報提供を行っていく。さらに、事前協議の際、法律上の基準への適合性及び生活環境への影響を確認していく。

なお、施設稼働の前後に任意で立入検査を実施し、基準に適合していない場合は、改善命令や施設の停止命令を講じていく。

* 周辺住民からの意見への対応について

意見については行政で精査し、廃棄物処理施設に係る設置届出の審査に反映していく。

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第80号 川崎市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第92号 川崎港臨港道路東扇島水江町線アプローチ部橋梁（そのⅡ工区）ほか工事請負契約の締結について」

《主な質疑・答弁等》

* 総合評価落札方式による入札において、低入札価格調査の基準価格を下回る金額で入札されたにもかかわらず、入札額を実際の金額ではなく同基準価格として評価することについて

総合評価落札方式において、低入札価格調査の基準価格を下回った場合の評価の点数は、同基準価格で入札した場合と変わらないこととなっている。また、この考え方については当該工事に限ったものではなく、総合評価落札方式において一般的に適用されるものである。

《意見》

* 当該工事については不要不急であり、反対の立場であるため、本議案には賛成できない。

《審査結果》

賛成多数原案可決